

第4回ふれあい自然観察会

大百池周辺のバードウォッチング 見直しました！ 大百池公園！！

渡邊清江（千葉市）

日 時：2013年2月23日（土）9～12時 天候：晴れ
コース：京成電鉄「学園前」駅—おゆみ野の森—大百池公園
参加者：43名（うち子ども6名） 指導員：8名
主 催：千葉市環境保全課 職員：3名
担当指導員：和仁道大・岡田敬子・河北紀子・木下順次・
渋谷雄二・芳賀めぐみ（事務局：高井昭夫）



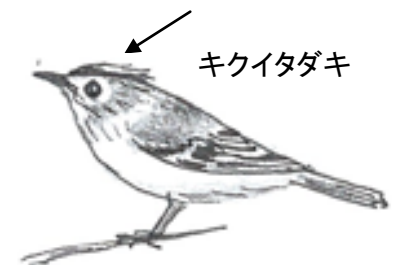
京成千原線『学園前』駅集合～大百池公園周辺での野鳥観察会の開催は初めて。この線で、新興住宅地＝おゆみ野と旧家の多い田園地帯とが、はっきり別れている地域です。

その第1ポイントは、駅近くの市民緑地『おゆみ野の森』と隣接する『ふれあい公園』を散策。“シメ”が多く、望遠鏡で姿をしっかりと見られました。グループによっては、近くのマンション上空にオオタカを見たそうです。

第2ポイントは、駅反対側の『千葉明德学園』の湿地と林縁。アカハラ出現。枝に長く留まっていて、良く観察出来ました。その後、学校の林縁づたいに移動。

先発グループが、林縁に向かい立ち止まっています。何か居るのかな？ なんと！シロダモを葉隠れにキクイタダキが数羽!! 見えそうで見えない姿…。前から観たいと思っていた鳥。全貌をしっかりと見たとは言えませんが、“こんな近くに居た！”と思うと、なんとも嬉しかったです。

黄菊を頂いているよう



第3のポイントは高台の畑。農作業の傍らをジョウビタキが戯れる。人の動きに合わせて枝と地面を飛んでは降りて…。農作業のおじさんには、いつもの見慣れた光景の様でした。

第4ポイントは、高台から望む谷津田。冬の田んぼは、ちょっと淋しい…が、カラス・ムクドリが多く下立っている。コサギ1羽が加わり、アオサギも通過。その合間に、セキレイ・モズなども飛ぶ。

第5ポイントは『大百池』。ハシビロガモ・オオバン・バン…etc。バンは千葉市で最大の繁殖地との和仁さんからのご説明を伺いました。餌をあげる人が多く、野鳥も、それに慣れているのが考えものですが…。こちらでもオオタカが出現し、確認出来た方も。

第6ポイント。大百池から高台の森『城の台』へ。ここでは小鳥のさえずりが多く聞こえました。一周終え様とした時、「ルリビタキの雌がいる」との情報。低木と地面を行き来する姿がはっきりと観られました。私だけでは、気が付くことはない地味～な 雌でした。

そんな時、大きな“キョッキョッ”の鳴声！が響き、“アカゲラ！？”という声。姿は確認出来ず残念！ 結果、出現種数35種を確認しました。

お子さん連れのグループも、最後まで散策を楽しんでくれました。参加者の方々の熱心さと、さすが鳥に通じた担当指導員の目によって、私には見えない鳥たちと多く対面出来、和仁さんのお言葉をお借りして、『贅沢な休日の一時』を実感し、『まだ近くに良い所ある！』を再確認した楽しく和やかな観察会でした。